

3類型	農林水産物	通巻番号	5-19-034
地域資源名	クズ	認定日	平成20年2月15日
地域	奈良県 奈良市	所管省庁	農林水産省・経済産業省

事業名:クズから抽出したカクコンエキスを使用した自然派化粧品ブランドの開発・販売

会社名:株式会社中川政七商店

所在地:奈良県奈良市池田町203-4

連絡先:TEL:0742-61-6676

HP: <http://www.yu-nakagawa.co.jp/>

FAX:0742-61-6672

事業概要(新たな活用の視点)

- ・奈良県は古くからのクズの産地であり、全国クズ生産量の約6割を占めている。一方、クズは掘るのが非常に困難であり、近年掘り手が減少しているため安価な輸入クズが増加している。
- ・クズの根茎は葛粉として食用が有名だが、古くからカクコンとして漢方でも重宝されている。カクコンエキスは一般的に保湿効果、美白効果、コラーゲン合成促進作用、紫外線吸収作用、表皮・角化細胞増殖促進作用、血行促進作用などの効果があるとされており、カクコンエキスを配合する化粧品が登場しはじめています。
- ・本事業では、クズをはじめ大峯山系の名水など奈良県産の資源を生かした自然派化粧品(フェイスケア・ヘアケア・ボディケア商品)を開発、販売する。



【商品イメージ】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・カクコンエキスの原料には輸入クズを用いられているが、最近では産地に対する消費者の関心が大きく、国産を求める傾向が強い。また、「自然派化粧品」についても定義がなく不明瞭なものが多い中、奈良県産のクズ、大峯山系の名水を用いるなど、トレーザビリティが明確であることは、「自然派」化粧品として大きな強みになる。

◆市場性

・化粧品市場(1兆5千億円)において海外自然派化粧品が続々と登場し販路を広げている中、日本化粧品市場では、「和」に対する志向が高まっている。本商品は、商品自体の原料の安全性と「和」を感じる化粧品として市場を確保する。

◆販路

・表参道ヒルズの直営店「粹更kisara」を中心に、旅館・ホテル、雑誌及びWebサイトでの通販、インテリアショップ・雑貨店への卸売を行う。



【粹更kisara 表参道ヒルズ店】

地域資源における関係事業者との連携

・本事業を実施にあたり、県内の製薬・薬品会社との連携を構築している。また、クズをはじめ化粧品原料の奈良県産化を県内事業者との協力により、進めて行く予定である。

